

哲 學 研 究

第 三 卷 第 一 冊

第 二 十 二 號

大 正 七 年 一 月 一 日 發



彙報 新著紹介……………

美しき靈の告白……………文學士 成瀬無極

デュロイの教育論(完結)……………文學士 篠原助市

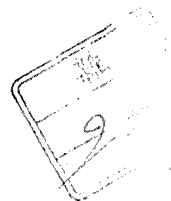
『社會的正義に就て……………文學博士 藤井健治郎

客觀的心理學に就て……………文學士 千葉胤成

意識とは何を意味するか……………文學博士 西田幾多郎

京 都 帝 國 大 學 文 學 大 科 內

京 都 哲 學 會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

| | |
|------|-------|
| 文學博士 | 波多野精一 |
| 文學博士 | 西田幾多郎 |
| 文學博士 | 朝永三十郎 |
| 文學士 | 千葉胤成 |
| 文學博士 | 狩野直喜 |
| 文學博士 | 米田庄太郎 |
| 文學博士 | 高瀬武次郎 |
| 文學士 | 植田壽藏 |
| 文學士 | 野上俊夫 |
| 文學博士 | 松本文三郎 |
| 文學博士 | 深田康算 |
| 文學博士 | 藤井健治郎 |
| 文學博士 | 小西重直 |
| 寶嚴方治 | |

書記

ふべきは断じて疑ふべからざる成なるを。東京小石川原町六番地
丙午出版社發行。壹圓五十錢。(植田謙蔵)

寄贈書籍雜誌

カントと現代哲學 文學博士 桑木嚴翼著 岩波書店
國語のアクセント 文學士 佐久間鼎著 心理學研究會

三富義臣君 追悼録 増田篤夫編 三富追悼録事務所
今井國三君 追悼録 今井 追悼録事務所
佛教美術概論 小野玄妙著 丙午出版社
印度の佛教 荻原雲來著 同

哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、人性、六合雜誌
東亞之光、早稻田文學、學校教育、教育、小學研究、教育界、新
公論、教育時論、滋賀縣教育會雜誌、長崎縣教育會雜誌、都市教
育、信濃教育、佐賀教育、藝備教育、宮城教育、愛媛教育、兒童、

前 號 目 次

| | | | |
|------------------------|------|----|-----|
| 最近のライブニッツ研究に就て…………… | 文學士 | 錦田 | 義富 |
| 十九世紀後半に於ける倫理學說の發達…………… | 文學博士 | 中島 | 力造 |
| デューイの教育論…………… | 文學士 | 篠原 | 助市 |
| 大鹽中齋の學說(完 續)…………… | 文學博士 | 高瀬 | 武次郎 |
| 彙報——新著紹介…………… | | | |

會 告 定 規 文 註

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 文科大學内
 振替口座大阪參〇六六參番
 京都哲學會

| 冊 | 數 | 定 | 價 | 郵 | 稅 |
|---------|---|---|------|---|---|
| 一冊 | 冊 | 金 | 貳拾 | 錢 | 壹 |
| 六冊(前金) | 冊 | 金 | 壹圓貳拾 | 錢 | 不 |
| 十二冊(前金) | 冊 | 金 | 貳圓四拾 | 錢 | 不 |

廣告料 一頁 金拾圓 半頁 金六圓

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺致すべくに付直に御拂込下され度候
 ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正六年十二月二十七日印刷
 大正七年 一月 一日發 行
 第二十二號 第三卷 第一册



編輯者 京都帝國大學文科大學内
 右代表者 寶嚴方治
 發行者 大葉久吉
 印刷者 青柳十一郎
 印刷所 秀英舎第一工場

發行所 東京日本橋區本石町三丁目
 (振替口座東京二八〇番) 寶文館

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目
 大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

● 新 春 必 讀 之 名 著 ●

翹望されたる著者の講演に基ける新著は發表せられたり

東京帝國大學
文科大學講師

文學士 松浦 一先生著

(最新刊)

生命の文學

布裝 全一册

定價金壹圓六拾錢

送料金拾貳錢

本書は著者が『文學の本質』發表以來、最近東京帝國大學にて爲せし文學概論の講演に基けるものにして、無量無邊の生命を文學の神髓より探り來り、生と死との争鬪の巷に眞に生くべき道を示せり。第一講貴族的か平民的か。第二講「我」の文學的實現の綱下に深遂極みなきの秘を説けり。敢て斯學研究者の一閱を仰ぐ。

文學と人生との眞義を此の尊き文學に求めよ

京 東 ● 寶 文 館 ● 六 阪